

# 南アから入国待機10日

## 近隣5カ国も 政府、水際対策を強化

政府は26日、南アフリカなど6カ国からの入国者に検疫所が確保した施設での10日間の待機を求めると発表した。27日午前0時からの適用となる。南アなどで高い感染

力を持つ可能性がある新たな新型コロナウイルスの変異ウイルスが見つかり、水際対策を強化する。ほかに10日間の待機の

対象になる国はアフリカのエスワティニ（旧スワジランド）、ジンバブエ、ナミビア、ボツワナ、レソトとなる。松野博一官房長官は26日の記者会見で水際対策をめぐり「状況が悪化する場合には機動的に対処していく」と

強調した。変異ウイルスが拡大する国からの入国を対象に3～10日の間施設での待機を求める対策を適用する。別途必要な自宅などでの滞在も含め、最長14日間は原則外出できなくなる。